

令和5年度日本小児外科学会
第7回定例理事会議事録

日 時：令和6年3月21日（木）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、加治 建、田中秀明、（以上理事）、
奥山宏臣（以上監事）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務副委員長）、
上原 秀一郎（財務会計委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、柴田晶子（以上
事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（理事・会長）、浮山越史（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫、
尾花和子、平林 健、湊本康史、米田光宏（以上理事）、越永従道（以上監事）、
松浦俊治（庶務委員）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、木下義晶（施設認定
委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、田中 潔（第40回秋季
シンポジウム会長）、大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、加治 建理事・田中 秀明理事とした。
2. 令和5年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第60回学術集会について（奥山前会長）

奥山前会長より第60回学術集会の収支について、第6回理事会で報告した通りであり、学
会本体の収支と併せて監査する予定であることが報告された。

2) 第61回学術集会について（田尻会長）

田尻会長より、現在の進捗状況の報告があり、承認された。

演題登録数は613題で、プログラムは確定済であることが報告された。

学生表彰は座長が選定し、閉会式で表彰することが確認された。

優秀ビデオの選定は学術集会終了後に学術・先進医療検討委員会に依頼し、秋季シンポジ
ウムで表彰することが確認された。

名誉・特別会員宛招待・懇親会案内は運営事務局から、総会開催案内は事務局から連絡す
ることが確認された。

会 期：2024年5月29日(水)～5月31日(金)

会 場：ヒルトン福岡シーホーク 〒810-8650 福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

テーマ：真のQOL向上を目指して

3) 第62回学術集会について（浮山次期会長）

浮山次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

会期：2025年6月5日(木)～6月7日(土)

会場：一橋大学一橋講堂 〒101-8439 千代田区一ツ橋2-1-2

テーマ：天に星、地に花、人に愛～きみの想いを子どもたちのために～

開催形式：現地開催＋ライブ配信

4) 第40回秋季シンポジウムについて（田中潔秋季シンポジウム会長）

田中秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

ホームページを開設したことが報告された。

ワーク・ライフ・バランス検討委員会企画講演会を共通講習にはしない予定であることが報告された。

日時：令和6年10月26日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

開催形式：現地開催＋ライブ配信（予定）

5) 第41回秋季シンポジウムについて（大植次期秋季シンポジウム会長）

大植次期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和7年11月1日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

6) 第42回秋季シンポジウムについて（渚本次々期秋季シンポジウム会長）

渚本次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

開催日程の候補が挙げられ、同時期に開催される関連学会の日程を確認し調整することが報告された。

開催地は東京、大阪、福岡で検討しており、都内で開催する場合の会場候補に相見積もりをとったことが報告された。

日時：令和8年10月●日（土）

会場：選定中

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2024年2月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,676名（うち海外2名）、評議員284名、準会員27名、名誉会員54名（うち海外8名）、特別会員66名（うち海外1名）、賛助会員1団体の合計2,107名+1団体である。

次々期会長、専門医制度委員選挙の公示について報告された。
顧問に関する定款施行細則改定案が提示され、承認された。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

旅費などの立替払いの精算方法について、日本外科学会に倣い、領収書や請求書の宛名は個人名ではなく、理事会の場合は「特定非営利活動法人 日本小児外科学会」、専門医制度委員会の場合は「一般社団法人 日本小児外科学会」とすることが報告された。

2024年度の各委員会の概算要求について報告された。

2023年度決算の会計監査について、学会支援機構の会議室において、4月22日18時から財務会計委員会を開催し、5月9日18時から監事監査を行う予定であることが報告された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

木下施設認定委員会委員長より、口頭で新専門医制度サブスペ領域について報告された。

岡島専門医認定委員会委員長より、北陸の施設に能登地震の影響はなかったことが報告され、NCDは問題なく進められることが報告された。

古村専門医制度庶務委員会委員長より、初期研修のシステム登録の進捗が報告された。

(4) 機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告された。

2023年（第59巻）優秀論文の選考結果について以下の通り報告された。

【原著部門】

「先天性横隔膜ヘルニアにおける漏斗胸発生因子の検討」

高山 慶太, 梅田 聡, 吉田 美奈, 堺 貴彬, 宇賀菜緒子, 前川 昌平, 山道 拓,
臼井 規朗

59巻7号, 1052-1057頁 (https://doi.org/10.11164/jjsps.59.7_1052)

【症例報告部門】

「内視鏡手術により摘出した横隔膜内肺葉外肺分画症の1乳児例」

縫 明大, 西堀重樹, 橋本さつき, 横山新一郎, 浜田弘巳

59巻4号, 770-777頁 (https://doi.org/10.11164/jjsps.59.4_770)

機関誌委員会内規の改定案が示され、承認された。

オンライン投稿・査読システム導入について、Editorial Manager (EM)、ScholarOne Manuscript (SIM)、J-STAGE との契約を通して EM または SIM を利用した場合、それぞれの見積が提示され、経費面から J-STAGE との契約を通していずれかを利用することが望ましいが、J-STAGE からの契約は公募時のみの申込に限られているため、現時点では導入

時期などの具体的な見通しが見つからないことが報告された。システム会社とのやり取り・管理は、初年度のみ 80,000 円で中西印刷に依頼していることが報告された。

(5) 国際・広報委員会 (渚本担当理事)

渚本担当理事より、資料に基づき HP の改定状況が報告された。

英語 HP を 70 万円で発注し、デモページ作成を依頼することが報告された。

HP バナーの整理について報告され、承認された。

小児救急検討委員会から要望のあった、外科系小児救急受け入れ病院の表示方法について、掲載位置を確認することが報告された。

教育委員会から要望のあった本邦小児外科研修病院の表示方法について二つの案が示され、見積もりを取ることが承認された。

(6) 保険診療委員会 (尾花担当理事)

尾花担当理事より、資料に基づき報告された。

令和 6 年度診療報酬改定の採択について報告された。

令和 8 年度診療報酬改定要望について報告された。

日本外科学会保険診療委員会より供給停止予定品目の調査依頼があり、メール審議にて当学会として問題のないことを確認し、報告したことが報告された。

日本小児期外科系連合関連学会協議会に尾花担当理事・田井中委員長が WEB 参加したことが報告された。

三保連シンポジウムに尾花担当理事・川瀬弘一保険診療委員会顧問が出席したことが報告された。

(7) 教育委員会 (内田担当理事)

内田担当理事より資料に基づき報告された。

第 40 回卒後教育セミナーが 2025 年 1 月 13 日 web 開催予定であること、また、プログラム案が決定したことが報告された。

令和 6 (2024) 年 8 月 10 日 (土) 名古屋大学において開催予定の小児外科サマースクールについて、募集期間や参加者決定方法、セミナーの内容等について報告された。

教育委員会から提案した小児外科学会ホームページの施設リストをわかりやすく改訂することについて、学術・先進医療検討委員会で審議中であることが報告された。

また、新たなホームページ改訂案として、【小児外科専門医を志望する医師に具体的な方向性をイメージしてもらうために専門医取得までの道程や QOL・ライフイベントなどを提示する】ことが提案され、学術・先進医療検討委員会に審議を依頼することになった。

2024 年 6 月 30 日 web で開催する第 39 回卒後教育セミナー・小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。

日本外科学会プラットフォームを利用した E-learning 立ち上げの準備状況について報告された。奥山監事より、E-learning については、日本外科学会で追加の開発を行う予定であることが報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会 (平林担当理事)

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

2024年2月14日に開催された第2回悪性腫瘍委員会について報告された。

過去データのデジタルアーカイブ化がどの程度可能か検討中であることが報告された。

過去データについて、腫瘍全国データは2000年度以降はエクセルで揃っていたが、登録用紙が3,4年に1度改訂されて内容が変わっていたため、記号のみ書かれていてわからないものがあるので、検討が必要であることが報告された。

各種データを現委員会へ移動しており、一部の紙媒体・MOディスク・フロッピーディスク(読み取り可能なファイルかは不明)は平林担当理事が保管することが報告された。

最後の症例審査を行った日大で、2024年度も継続となってしまったため、2024年度も審査料がかかることが報告された。

(9) 学術・先進医療検討委員会 (米田担当理事)

米田担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

教育委員会の望月京子委員長から審議依頼があった「日本小児外科学会ホームページ更新に関するアンケート調査」について、学術・先進医療検討委員会の審議結果が報告され、承認された。

日本小児外科学会 Under45 ワーキンググループの大西俊先生より審議依頼があった「日本小児外科学会員の学術活動の経験および今後の展望についてのアンケート調査」について、学術・先進医療検討委員会の審議結果が報告され、承認された。

NCD Audit Ad-hoc 委員会委員候補について報告された。

胆道閉鎖症研究会から依頼のあった、認定施設及び教育関連施設に対して、胆道閉鎖症全国登録への参加依頼を行うこと、および、既存会員も含めた登録事業について報告され、承認された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会 (石橋担当理事)

石橋担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

第61回学術集会で5月29日(水)に開催する医療安全講習会について報告された。

小児外科専門医を1回以上更新している会員を対象に行った、医療事故調査の調査委員や医療事故裁判の鑑定人に推薦された場合、引き受けていただけるかどうかのアンケート結果について報告され、2年に一度、同様のアンケートを行っていくことが確認された。

奥山監事より、日本外科学会の倫理的手続きに関する指針が変更されたことが報告された。

(11) データベース委員会 (田中秀明担当理事)

田中担当理事より、資料に基づき報告された。

2024年2月15日に開催された第2回DB委員会Web会議について報告された。

2024年度NCDデータ(小児外科領域)の学術利用についての公募について報告された。過去の落選した研究計画については再度応募を妨げる規則はないので、募集時の案内にて

再応募が可能であることを周知することが報告された。

2024年度の小児外科学会 HP 内データベース委員会の項目の年次修正作業について報告された。

令和5年度第3回理事会で審議された、2021年度に承認されたNCD研究（外科複数領域「成人手術の Learning curve から推定される小児外科医の症例経験数の充足割合の検討」）の修正申請の審議結果を申請者に報告したところ、申請者から研究チーム内で検討するとの回答があったことが報告された。

初の前向き研究の申請である「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究計画書の進捗について報告された。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

2023年度の門田班研究のアンケート調査結果について報告された。

令和6年度 PALS 講習会開催予定について報告された。

令和6年能登半島地震を受けて、災害発生時の対応に関してシミュレーションを行うことが報告された。

認定施設と教育関連施設の認定の変更について、施設認定委員会と情報共有することが確認された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告された。

2024年3月14日に「外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック第2版」、「移行期支援のための患者サマリー（2022年版）」使用状況についてアンケート調査をメール配信したことが報告された。

2024年5月11日に徳島県で開催される第1回成人移行支援のあり方研究会について報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告された。

2024年2月6日に開催されたワーク・ライフ・バランス検討委員会について報告された。

第61回学術集会における学会との合同企画の開催日時が5/31（金）9:50~11:50 に決定したことが報告された。学術集会ホームページに掲載する企画のポスターを作成中であることが報告された。

委員会内の役割分担について、グループすべてに城田委員長が参加し、グループごとにリーダーを決定して活動することが報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、資料に基づき第 61 回日本小児外科学会学術集会の倫理審査について報告された。

田尻会長より、2024 年 3 月に日本外科学会の倫理的手続きに関する指針が更新されると共に、新しいカテゴリー分類が提示されたことが報告され、10 月に開催される小児外科学会の秋季シンポジウムで新しいカテゴリーについて報告することが提案された。

(17) NCD 連絡委員会（瀧本担当理事）

瀧本担当理事より、資料に基づき小児外科領域 NCD-P Risk calculator 論文・新 Version 開発とその枠組みについて報告された。コストパフォーマンスも含めて継続審議していくことが確認された。

Surgery Today に掲載される門田班受託研究の論文の著者負担金立替費用について、議論された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

日本小児感染症学会から 2 月に依頼された「免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン 2024」について、理事会承認を得て、依頼元である日本小児感染症学会に返信したことが報告された。

腸回転異常症診療ガイドラインについて、2024 年 2 月に Minds よりリンク許諾申請書が理事長宛に届いたことが報告された。Minds ガイドラインライブラリ掲載について審議され、承認された。

ガイドライン委員会が事務局を担当している小児胃軸捻転症診療ガイドラインの進捗が報告され、一般向け解説を作成中であることが報告された。

先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、組織編成が終了し、厚労科研田口班と連携して行うことが報告された。3 月 19 日のキックオフミーティングについて報告された。

診療ガイドライン作成協力について、胆道閉鎖症診療ガイドライン改訂、先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂の作成グループに参加することが報告された。

学会 HP ガイドラインの更新について、4 月の委員会で更新内容を決定し、5 月にアップロード予定であることが報告された。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、資料に基づき報告された。

日本医学会利益相反管理規定案に伴う本学会の利益相反管理規定案の変更について、委員会で審議し承認されたことが報告された。

日本医学会 COI 管理ガイドライン 2022 年 3 月改定に伴う機関紙 COI 申告書の変更について、委員会で審議し承認されたことが報告された。

『NCD 利用研究』における COI の申告の検証について、NCD 複数領域のデータを利用した研究の申請があり研究代表者、研究分担者の利益相反状態について自己申告していたが、問題のないこと確認したことが報告された。

日本小児外科学会学術集会時の COI の検証について、第 60 回日本小児外科学会学術集

会の会長である奥山宏臣先生、第 39 回日本小児外科学会 秋季シンポジウムの会長である白井規朗先生の COI を確認中であることが報告された。

2024 年度の役員・委員会委員長・委員の利益相反状況の確認を実施していることが報告された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、資料に基づき、1 月 29 日に開催された、関連学会との合同 WG である「遠隔手術支援の社会実装に向けた WG」について報告された。

小児外科固有の疾患から適用を持っていく方が良いのではないかという意見が寄せられたことが報告された。

(22) 総合調整委員会（家入委員長）

家入委員長より、資料に基づき以下の点について検討を行ったと報告された。

- ・他学会との学術集会でのコラボレーションについて
- ・働き方改革に対する学会の取り組み
- ・こども家庭庁への学会からの要望について
- ・新専門医制度への対応について
- ・U45WG の今後の活動方針について
- ・学術集会のあり方について
- ・NCD Audit 委員会について（アドホック委員会の是非）
- ・小児外科専門医の適正配置について（地域ブロック制についての検討）
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方
- ・英語 HP について
- ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて
- ・胆道閉鎖症研究会の登録事業について

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻会長より、新専門医制度について報告された。

外科学会の SNS をフォローするよう、呼びかけられた。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より口頭で、浮山次期会長から、四者協の健康診査委員会について渡井有先生から浮山次期会長に交代済との指摘があったが、事務局では把握していなかったことが報告された。

四者協の委員交代については仁田尾前事務局担当も、四者協から依頼を受けて推薦するため小児外科学会の新理事会発足時は変更しない、という認識だったため、明確にどのように交代するのか把握していないことが報告された。

これを受けて、四者協の委員の任期や交代について確認し、交代の際には理事長宛に連絡してもらうようにすることが確認された。

8) 2023 年度事業報告・2024 年度事業計画について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より資料に基づき、2023 年度事業報告・2024 年度事業計画の原案が提示された。

9) 名誉会員・特別会員推戴について（小野理事長）

審議の結果、以下の 6 名を本年度推戴候補者として内諾を確認の後、社員総会（評議員会）に諮ることとした。

名誉会員推戴候補者：黒田 達夫先生

名誉会員推戴候補者：米倉 竹夫先生

名誉会員推戴候補者：金森 豊先生

名誉会員推戴候補者：野田 卓男先生

名誉会員推戴候補者：山高 篤行先生

特別会員推戴候補者：小室 広昭先生

1. 報告事項

1) 理事長報告（小野理事長）

(1) 令和 5 年度第 11 回メール審議：難治性脈管腫瘍・脈管奇形患者に対するラパリムス錠及び同顆粒（シロリムス）投与に係る TDM の保険適用（特定薬剤治療管理料の算定対象疾患追加）の要望書（案）について議決した。

(2) 令和 5 年度第 12 回メール審議：（一社）日本小児感染症学会より「免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン 2024」の評価と承認の依頼について議決した。

(3) 日本医学会連合 加盟学会連携フォーラム共催事業についてのご案内（小野理事長）を受領した。

(4) 日本内視鏡外科学会からの通信文「理事長就任のお知らせ」を受領した。

(5) 日本医学会からの通信文「会長就任のお知らせ」を受領した。

(6) 門田守人先生お別れの会事務局からの通信文「お礼状」を受領した。

(7) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみつく vol144-4」を受領した。

(8) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 No. 66・会員ニュース No. 77」

(9) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌」を受領した。

(10) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 2 月号」を受領した。

(11) 第 31 回医学会総会からの寄贈本「会務記録」を受領した。

(12) 第 31 回医学会総会からの寄贈本「ビッグデータと医療」を受領した。

(13) 第 31 回医学会総会からの寄贈本「医の変革」を受領した。

(14) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol. 203」を受領した。

(15) 第 31 回医学会総会からの寄贈本「創立 10 周年記念誌 一般社団法人日本医学会連合の設立を振り返る」を受領した。

(16) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 408」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認 (小野理事長)

次回定例理事会は令和 6 年 5 月 28 日(火) 11:00～14:30 ヒルトン福岡シーホーク 1階
ナビス C にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____